



2021年5月26日
鉄道友の会

鉄道友の会 選定

2021年ブルーリボン賞・ローレル賞決定

ブルーリボン賞 (第64回)

- 近畿日本鉄道 80000系

ローレル賞 (第61回)

- 東日本旅客鉄道 E261系
- 東海旅客鉄道 N700S

鉄道友の会(会長 須田 寛、会員約 3,000 名)は、近畿日本鉄道 80000 系をブルーリボン賞(最優秀車両)に、また、東日本旅客鉄道 E261 系および東海旅客鉄道 N700S をローレル賞(優秀車両)に選定しました。

なお、ブルーリボン賞は第 64 回、ローレル賞は第 61 回となります。

賞の趣旨、選定車両の解説・選定理由などは別紙をご覧ください。

近畿日本鉄道 80000系

近畿日本鉄道では1988年の21000系、2002年の21020系を停車駅の少ない名阪特急列車に充当してきました。基調色がクリスタルホワイトのこれら2系列に対して、後継車両の80000系はひのとりレッドを装って登場しました。

「ひのとり」の名称は、翼を大きく広げて飛翔する姿に、先進的でスピード感のある車体フォルムや艶感のある深い赤などの外観デザイン、ゆったりとした空間や上質なサービスを提供する気品ある車両のイメージを重ね合わせています。

車体は普通鋼製で、床面高さを従来車より低くしてプラットフォームとの段差を少なくしており、先頭構体は正面衝突を考慮した設計としています。そして塗装は、メタリック層にクリア層を重ねて仕上げられています。

6両編成と中間運転台を備えた8両編成があります。先頭車はハイデッカー構造のプレミアム車両で、本草表地の3列シートが並び、デッキ部にカフェスポットを設けています。中間車は平床構造のレギュラー車両で、抗菌消臭機能付きモケット表地の4列シートが並びます。これらの全シートにバックシェルを設けて、フルクライニング状態での後列乗客への圧迫感を緩和することで、気兼ねなくリクライニングすることを可能としています。

主電動機はPGセンサレス構造の全閉自冷式かご形三相誘導電動機で、電力損失が少なく、また内部への塵埃侵入を防ぐことで、保守作業の軽減を図っています。1C2M方式の主制御装置はハイブリッドSiC素子を採用し、電磁式単位スイッチで構成される断流器にダイオングリッド方式の消弧機能が備わっています。電動空気圧縮機はスクロール方式で、ブレーキ装置に純電気指令式を用いています。良好な乗り心地を実現するため、プレミアム車両に電気式横揺れ防止装置を設けています。

名阪特急列車は広くゆったりした快適性を実現し、高品質で高機能な移動空間を提供してきました。「くつろぎのアップグレード」をコンセプトとする80000系は、これらをさらに追求しています。ビジネス、観光、お出かけなどの多様な利用用途に対応し、車内からの眺望を楽しむことができる一方、悠久の歴史を育む沿線の伝統的景観とも調和しており、完成度が極めて高く魅力あふれる車両であることを評価してブルーリボン賞に選定しました。



ブルーリボン賞 近畿日本鉄道 80000系

写真：鉄道友の会

東日本旅客鉄道 E261 系

東日本旅客鉄道（JR 東日本）E261 系は、都市と観光地である伊豆との移動用に「大人の IZU 本物の IZU」をコンセプトに導入された新型特急車です。

E261 系では全席をグリーン席で構成し、さらに1号車にグリーン車よりワンランク上のグレードであるプレミアムグリーン車、2号車と3号車に個室グリーン車、4号車に食堂車（カフェテリア）を設定しています。プレミアムグリーン車は1+1列配置の座席10列、グリーン車は1+2列配置の座席、個室は各車4室で6名用と4名用、カフェテリアは食事スペースにソファ席4席×2カ所とカウンター席8席で構成されています。

編成は8両で構成され、熱海・伊豆急下田方面を1号車、東京・新宿・大宮方面を8号車とし、編成定員は164名です。車両情報管理システムとしてはINTEROSを同社の特急車としては初めて採用しています。

外部のデザインは車両の先頭から後方につながるラインが特徴的で、カラーリングは伊豆の自然をモチーフに「伊豆アズール」と名付けられた紺碧色をベースに、前面から屋根に連続する白いライン（白浜ホワイト）、車体側面の黒いライン（城ヶ崎グレー）が列車全体を繋げています。

車体はアルミニウム合金の中空押出型材を用いたダブルスキン構体を採用、全室に天窓を配置して開放感のある車内空間を演出、両先頭車は運転室と客室の仕切りにガラスを使用して客室から前方視界を楽しむことができます。

制御装置はSiC素子による2レベル式インバータ制御により4台の主電動機を制御する1C4M方式で、主電動機は全閉式外扇形誘導電動機を採用しています。ブレーキ装置は回生ブレーキ併用電気指令式空気ブレーキで、INTEROSに基づく編成ブレーキ力制御を行います。電動空気圧縮機はレシプロ式オイルフリーコンプレッサ、補助電源装置はIGBT素子を使用した待機二重系3レベル方式の静止型インバータ、空調装置は床下集中ユニット形を採用しています。台車はボルスタレス台車で、すべての台車にフルアクティブ動揺防止制御装置およびヨーダンパを搭載して乗り心地の向上を図っています。

E261 系は2020年3月14日から「サフィール踊り子」として営業運転を開始しました。最新技術を取り入れ、付加価値の高い移動空間と輸送ネットワークを提供する極めて完成度が高い車両としてローレル賞に選定しました。



ローレル賞 東日本旅客鉄道 E261 系

写真：鉄道友の会

東海旅客鉄道 N700S

東海旅客鉄道の新型新幹線車両N700Sは2020年7月1日から営業運転を開始しました。N700Sは、300系、700系、N700系、N700Aに続く車両であり、13年ぶりのフルモデルチェンジを行い、最高の新幹線車両を意味する「Supreme（最高の）」のSを付した車両です。2016年にその開発が公表され、2018年に確認試験車1編成が登場、以来試験走行が重ねられ、機能、接客などの面から改良、確認が行われて2020年から量産車両の受け入れが始まりました。なお、東海道・山陽新幹線において相互に直通運転をしている西日本旅客鉄道においても導入が進められています。

大きな改良点としては床下機器の小型軽量化を一層進めたことにより、従来では不可能であった機器配置を可能とし、編成両数を柔軟に構成可能な標準車両を実現しました。これにより大規模な設計変更をすることなく各地域のニーズに合わせた、柔軟な編成構成が実現でき、現時点では、西九州新幹線などへ6両編成での展開が計画されており、今後も更なる展開が期待されます。

また、高速鉄道としては世界初となるバッテリー自走システムの搭載も行われており、停電時に橋梁やトンネル内で停止してしまった場合でも、架線からの電力供給を必要とせず自力走行で安全な場所まで移動が可能となりました。

床より上に目を転じますと、座席についてグリーン車では「くるぶし」を回転中心としたリクライニング機構とすることで、座面全体が深く沈み込む際、背もたれも連動して傾斜する様になり、倒した角度によらず常に疲れにくい姿勢を維持できます。普通車では背もたれと座面が連動して動く機構を採用し、より快適な座り心地を提供しています。また、普通車ではモバイル用電源を全席に設置しました。2021年度導入編成からは、改正省令に対応して車椅子スペースを拡大しました。また、更なる安全・安定輸送の確保のために車両監視機能の強化や車内防犯カメラの増設などが行われています。

外観は東海道新幹線開業以来、一貫して用いてきた白地に青帯を踏襲し伝統を継承しつつ、先頭部の青帯は「Supreme（最高の）」の「S」の形を表すデザインとし、最新車両である事を表現しています。このように技術、サービスの向上で日々多くの乗客を快適、安定的に輸送する車両としてローレル賞に選定しました。



ローレル賞 東海旅客鉄道 N700S

写真：鉄道友の会

ブルーリボン賞・ローレル賞とは

我が国の鉄道車両の進歩発展に寄与することを目的に、鉄道友の会が毎年1回、前年1月1日から12月31日までの間に日本国内で営業運転を正式に開始した新造および改造車両から選定している賞です。



ブルーリボン賞

ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会が選んだ候補車両に対する会員の投票結果に基づき、選考委員会が審議して最優秀と認めた車両を選定します。



ローレル賞

ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会が選んだ候補車両に対する会員の投票結果を参考にして、選考委員会が審議して優秀と認めた車両を選定します。

ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会

鉄道車両に精通するベテランの鉄道友の会会員で構成します。
なお、今年の選考委員は9名、候補車両は16系列・形式でした。

添付資料

過去のブルーリボン賞・ローレル賞選定車両一覧

本件につきましてのお問い合わせは下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-16	
ヒューリック市ヶ谷ビル 3階	
鉄道友の会 (本部事務局) 担当：鹿山	
TEL & FAX	03-5215-0305
URL	https://www.jrc.gr.jp/

■ ブルーリボン賞・ローレル賞 選定車両一覧 (その1)

年度	ブルーリボン賞	ローレル賞
1958	小田急電鉄 3000形	(制定なし)
1959	日本国有鉄道 151系	(制定なし)
1960	近畿日本鉄道 10100系	(制定なし)
1961	日本国有鉄道 キハ81系	京阪神急行電鉄 2000系・2300系
1962	名古屋鉄道 7000系	日本国有鉄道 401・421系
1963	近畿日本鉄道 20100系	京王帝都電鉄 3000系
1964	小田急電鉄 3100形	京王帝都電鉄 5000系
1965	日本国有鉄道 0系	山陽電気鉄道 3000系
1966	名古屋鉄道 キハ8000系	札幌市交通局 A830形
1967	近畿日本鉄道 18200系	長野電鉄 0系
1968	日本国有鉄道 581系	該当車なし
1969	日本国有鉄道 EF66形	東京都交通局 6000形
1970	西武鉄道 5000系	大阪市交通局 60系
1971	該当車なし	名古屋鉄道 モ600形
1972	日本国有鉄道 14系(寝台車)	帝都高速度交通営団 6000系
1973	日本国有鉄道 183系	小田急電鉄 9000形
1974	京成電鉄 AE形	西日本鉄道 2000形
1975	該当車なし	日本国有鉄道 24系25形(寝台車) 黒部峡谷鉄道 EH形
1976	阪急電鉄 6300系	日本国有鉄道 キハ66・67形 東京急行電鉄 8500系 富士急行 5000系
1977	名古屋鉄道 6000系	上信電鉄 1000系 札幌市交通局 6000形
1978	近畿日本鉄道 12400系	東京都交通局 新7000形 神戸市交通局 1000形
1979	近畿日本鉄道 30000系	京浜急行電鉄 800形 日本国有鉄道 オハ50系
1980	江ノ島鎌倉観光 1000形	名古屋鉄道 100系 北総開発鉄道 7000形 富山地方鉄道 14760系
1981	小田急電鉄 7000形	日本国有鉄道 117系 長崎電気軌道 2000形
1982	箱根登山鉄道 1000形	福岡市交通局 1000系
1983	京浜急行電鉄 2000形	日本国有鉄道 200系 熊本市交通局 8200形
1984	日本国有鉄道 14系700番代	京阪電気鉄道 6000系
1985	名古屋鉄道 8800系	帝都高速度交通営団 01系 樽見鉄道 ハイモ180形
1986	伊豆急行 2100系	南海電気鉄道 10000系 日本国有鉄道 100系
1987	北海道旅客鉄道 キハ83・84形	北大阪急行電鉄 8000系 近畿日本鉄道 7000系 四国旅客鉄道 キハ185系
1988	小田急電鉄 10000形	仙台市交通局 1000系
1989	近畿日本鉄道 21000系	九州旅客鉄道 783系
1990	東日本旅客鉄道 651系	西日本旅客鉄道 221系 四国旅客鉄道 2000系
1991	東武鉄道 100系	東日本旅客鉄道 251系 大阪市交通局 70系
1992	小田急電鉄 20000形	東日本旅客鉄道 253系 九州旅客鉄道 キハ200系

■ ブルーリボン賞・ローレル賞 選定車両一覧 (その2)

年度	ブルーリボン賞	ローレル賞
1993	九州旅客鉄道 787系	東海旅客鉄道 300系 日本貨物鉄道 EF200形
1994	該当車なし	日本貨物鉄道 DF200形
1995	南海電気鉄道 50000系	北海道旅客鉄道 キハ281系
1996	九州旅客鉄道 883系	日本貨物鉄道 コキ71形 東海旅客鉄道 383系
1997	該当車なし	北海道旅客鉄道 731系
1998	西日本旅客鉄道 500系	熊本市交通局 9700形 叡山電鉄 900形 近畿日本鉄道 5800系
1999	西日本旅客鉄道/東海旅客鉄道 285系	スカイレールサービス 200形
2000	東日本旅客鉄道 E26系	広島電鉄 5000形 東海旅客鉄道/西日本旅客鉄道 700系 東日本旅客鉄道 209系950番代
2001	九州旅客鉄道 885系	名古屋鉄道 モ800形 近畿日本鉄道 3220系・5820系・9820系
2002	東日本旅客鉄道 E257系	西日本旅客鉄道 キハ187系
2003	近畿日本鉄道 21020系	岡山電気軌道 9200形 鹿児島市交通局 1000形
2004	四国旅客鉄道 5100形	該当車なし
2005	日本貨物鉄道 M250系	九州旅客鉄道 800系 長崎電気軌道 3000形
2006	小田急電鉄 50000形	名古屋鉄道 2000系 愛知高速交通 100形 広島電鉄 5100形 福岡市交通局 3000系
2007	富山ライトレール 0600形	東日本旅客鉄道 E233系 西日本鉄道 3000形
2008	東海旅客鉄道/西日本旅客鉄道 N700系	東日本旅客鉄道 キハE200形 東日本旅客鉄道 E721系/仙台空港鉄道 SAT721系
2009	小田急電鉄 60000形	豊橋鉄道 T1000形 京阪電気鉄道 3000系
2010	東日本旅客鉄道 E259系	近畿日本鉄道 22600系
2011	京成電鉄 AE形	東京地下鉄 16000系
2012	東日本旅客鉄道 E5系	日本貨物鉄道 HD300形900番代
2013	東京地下鉄 1000系	該当車なし
2014	近畿日本鉄道 50000系	東日本旅客鉄道 E6系 福井鉄道 F1000形
2015	東日本旅客鉄道 E7系/西日本旅客鉄道 W7系	東日本旅客鉄道 EV-E301系 箱根登山鉄道 3000形
2016	阪神電気鉄道 5700系	東日本旅客鉄道 HB-E210系 四日市あすなろう鉄道 新260系
2017	九州旅客鉄道 BEC819系	東日本旅客鉄道 E235系 えちごトキめき鉄道 ET122系1000番代 静岡鉄道 A3000形
2018	西日本旅客鉄道 35系客車	東日本旅客鉄道 E353系 東武鉄道 500系 鹿児島市交通局 7500形
2019	小田急電鉄 70000形	相模鉄道 20000系 叡山電鉄 デオ730形「ひえい」
2020	西武鉄道 001系	四国旅客鉄道 2700系